

令和5年度公益財団法人山梨県国際交流協会 事業報告

事業概要

令和5年4月の県立国際交流・多文化共生センターの開設に伴い、事務所を同センター内に移転し、これを機に多文化共生の社会づくりに関する事業を充実強化するとともに、社会情勢の変化を踏まえ、事業のスクラップ・アンド・ビルドを行い、関係団体と連携・協働しながら、地域レベルの国際化を推進する中核的な組織として、国際交流、国際協力、国際理解など様々な事業を展開した。

事業実施状況

1 会議開催状況

- (1) 理事会 4回 令和5年6月1日、6月16日、7月21日(書面)、令和6年3月26日
- (2) 評議員会 1回 令和5年6月16日

2 多文化共生の社会づくりに関する事業

(1) 情報収集提供事業

① 国際交流・多文化共生情報発信強化事業

- ・ 協会主催事業をはじめ、外国人住民の生活に役立つ情報や、様々な国際交流情報をやさしい日本語や多言語で発信するホームページの管理・運営を行うとともに、県が新たに開設する国際交流・多文化共生センターのホームページの作成作業に協力した。
- ・ 当協会からの情報提供をはじめ、国際交流、国際協力、多文化共生等に関する有益な情報を収集し、「フェイスブック」等のSNSやHPで情報発信した。
- ・ 山梨日日新聞に毎月2回(第2、第4水曜日)、「山梨県国際交流協会ニュース」及び多文化共生等に関する内容のコラムを掲載した。
- ・ 当協会事業等を広報するため、報道機関に情報提供を行った。

② 国際関係書籍等の整備

国際的な分野での活動等に関心を持つ県民のニーズに応えるため、国際交流、国際協力、日本語教材、留学、多文化共生等の書籍等を整備し、閲覧に供した。

- ・ 場 所: 国際交流・多文化共生センター 1階「書籍コーナー」

③ 協会機関誌「YIA Newsletter」の発行

- ・ 発行回数: 2回(6月、2月)
- ・ 発行部数: 2,000部/回
- ・ 配布先: 会員、各市町村、国際交流関係団体、ハローワーク、各大学、各警察署等

(2) 相談事業

① やまなし外国人相談支援センターの運営

ア 相談窓口の運営等

県内に在留する外国人や外国人を雇用する企業に対し、情報提供や相談対応を行う窓口の運営を行い、窓口には在留資格の専門家である行政書士をアドバイザーとして週3日配置した。

- ・ 実施日時: 火曜日～土曜日(祝日及び12月29日～1月3日は除く。) 9:00～17:00
- ・ 実施場所: 国際交流・多文化共生センター内
- ・ 対応言語: 11言語(日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語・ネパール語・インドネシア語・タガログ語・タイ語・ポルトガル語・スペイン語等)以上

イ 無料法律相談の開催

外国人住民等を対象に、弁護士による生活や労働問題などに関する無料相談会を開催した。

- ・ 実施日:第1水曜日(夜)、第3土曜日(昼)
- ・ 実施場所:国際交流・多文化共生センター 研修室
- ・ 相談件数:59件

ウ 外国人相談等に関する研修会の開催

- ・ 開催日:8月29日(火)、9月5日(火)、1月25日(木)、2月14日(水)
- ・ 開催場所:びゅあ総合 会議室等

② 外国人地域生活サポーター設置事業

県内在住の外国人住民に対し、言葉だけでなく、文化、慣習、宗教などの背景や違いを尊重し理解するとともに、日常生活に関する相談対応や情報提供を行い、適切な行政サービスの利用をサポートできる地域の身近な支援員として、「外国人地域生活サポーター」を設置し、管理運営を行った。

ア サポーターの選定(委嘱は県)

イ サポーター事業の管理運営

- ・ 登録者数:25名
- ・ 相談・同行件数:363件
- ・ 情報提供件数:660件

ウ 研修会・意見交換会の開催

- ・ 開催日:9月9日(土)
- ・ 開催場所:びゅあ総合 会議室
- ・ テーマ:コミュニティ通訳(サポーター)の心構えと事例検討

(3) 人材育成事業

① 国際交流・多文化共生人材バンクの運営

市町村や団体からの国際交流や国際理解、多文化共生などに関する様々な依頼に応じ、外国語人材、国際交流・国際協力人材、多文化共生支援人材に関するボランティアの登録とその利用に伴う連絡調整を行った。

- ・ 登録者数:134名
- ・ 利用件数:29件(延べ46名)

(4) 多文化共生推進事業

① 地域日本語教育推進事業

県内に在留する外国人に対し、日常生活を営む上で必要となる日本語能力を習得できる環境を整備する。

ア 総括コーディネーター及び地域日本語教育コーディネーターの配置

イ 生活に関する日本語教育プログラムの開発

ウ 日本語学習支援者(パートナー)研修会の開催

- ・ 開催時期:7~8月(5回)
- ・ 修了者数:114名

エ 市町村日本語教室の運営支援

- ・ 実施市町村:山梨市、笛吹市、北杜市、大月市、南アルプス市、甲府市、韮崎市、上野原市

オ オンライン初級日本語教室の試行

② 災害時外国人支援体制強化事業、

災害時における外国人の安全・安心を確保するための取り組みを行う。

ア 外国人住民向け防災教室の開催

- ・ 開催回数:6回
- ・ 開催場所:ユニタス日本語学校(2回)、南アルプス市日本語教室、北杜市日本語教室

甲府市日本語教室、上野原市日本語教室

- ・ 参加者数:365名
- ・ 開催内容:災害に備える講話(災害の基礎知識と発災時の行動、情報収集等)
非常食アルファ米の作り方と試食、非常持ち出し袋を考える など

イ 災害時外国人支援セミナーの開催

- ・ 開催日:11月11日(土)
- ・ 開催場所:かいてらす 会議室
- ・ 参加者数:6ヶ国29名
- ・ 開催内容:講演「災害時における外国人支援とやさしい日本語」
災害多言語支援センター設置・運営シミュレーション

ウ 山梨県災害多言語支援センター設置・運営訓練

県との協定に基づき、山梨県災害対策本部が設置される災害時に外国人支援の拠点となる「山梨県災害多言語支援センター」の設置・運営のための訓練を行った。

- ・ 実施日:3月7日(木)
- ・ 実施場所:国際交流・多文化共生センター 研修室
- ・ 実施内容:情報収集訓練、意見交換

③ 多文化共生地域づくり推進事業

多文化共生社会の実現に向け、県民意識の醸成を図る取り組みを行った。

ア 「やまなし多文化共生シンポジウム」の開催

- ・ 開催日:3月9日(土)
- ・ 開催場所:山梨県立文学館 講堂
- ・ 参加者数:221名
- ・ 開催内容:講演「出会いこそ、生きる力」 講師:サヘル・ローズ(タレント・俳優、イラン戦災孤児)
パネルディスカッション「多文化共生が拓く山梨の未来」

イ 「やさしい日本語」入門セミナーの実施

- ・ 実施日:2月8日(木)、16日(金) ※同じ内容で2回実施
- ・ 実施方法:オンライン
- ・ 受講者数:延べ110名(教員、行政職員、医療関係者等)

④ 民間団体との連携事業

近年の外国人住民の増加に伴い、多文化共生の社会づくりの重要性が高まっていることを受け、国際交流・国際協力関係団体のネットワーク組織である「やまなしインターナショナルネットワーク(YIN)」を発展的に解消し、外国人支援等の多文化共生活動を行っている団体も取り込み、多様な団体との緩やかな連携を図る「やまなし国際交流・多文化共生団体連絡会」を設立した。

- ・ 設立日:3月16日(土)
- ・ 加入団体:23団体
- ・ 活動内容:参加団体相互の情報交換・情報共有
国際交流や多文化共生の事業やイベントに関する情報提供
国際交流や多文化共生の事業やイベント実施への協力
加入団体の活動等、国際交流・多文化共生に関する情報発信 等

⑤ 多文化交流促進事業

外国人が安心して暮らせる多文化共生社会の形成に向け、日本人住民の多文化共生意識の醸成と外国人住民の社会参加を促進するため、日本人住民と外国人住民との交流や異文化理解に資するイベントを開催した。

- ア 信玄公祭り甲州軍団出陣への外国人住民の参加

- ・ 実施日:10月28日(日)
- ・ 参加者数:10名(タイ、ベトナム、ブラジル、フランス、アメリカ)

イ 県民の日記念行事でのブース出展

- ・ 実施日:11月19日(日)
- ・ 実施会場:小瀬スポーツ公園
- ・ 来場者数:約200名
- ・ 実施内容:民族衣装体験(インド、ペルー、アフリカ等)、在住外国人に関するパネル展示等

ウ 甲府えびす講祭りのみこし渡御への外国人住民の参加と多文化交流イベントの実施

- ・ 実施日:11月23日(祝)
- ・ 実施会場:県庁噴水広場、平和通り、舞鶴城公園南広場
- ・ 参加者数:神輿渡御10ヶ国15名
- ・ イベント内容:空手演武・体験、カポエイラ実演、よさこいソーラン演舞
プチ縁日、多国籍キッチンカー

エ 日本人住民と外国人住民との交流運動会の開催

- ・ 開催日:12月17日(日)
- ・ 開催場所:県立青少年センター
- ・ 参加者数:約50名(9ヶ国)
- ・ 実施内容:玉入れ、おたまりレー、綱引き、けん玉、福笑い、だるまさんがころんだ

3 国際交流に関する事業

(1) 国際親善交流事業

① 姉妹友好地域交流促進事業

本県と姉妹友好関係にある地域との交流深化に向けた取り組みを行った。

- ・ アイオワ日米協会の夏祭り(9/3)で農林高校の和太鼓演奏のビデオを上映
- ・ 山梨学院短期大学「異文化コミュニケーション」講座(10/13)で姉妹友好地域を紹介
- ・ 姉妹友好地域紹介パネルを作成し、びゅあフェスティバル(12/2-3)で展示
- ・ 忠清北道立大学校学生訪問団のボランティア交流(12/20)及び県立大学での学生交流(12/21)の場に通訳を派遣
- ・ 吉田高校と四川省内江市第二中学のオンライン交流(3/18)に協力

② やまなし国際フェスタ開催事業

国際交流・多文化共生センターと男女共同参画推進センター(びゅあ総合)の複合化に伴い、男女共同参画関係団体との協働による、ダイバーシティをテーマとしたイベントを開催した。

ア 「びゅあフェスティバル2023」の開催

- ・ 開催日:12月2日(土)～3日(日)
- ・ 開催場所:男女共同参画推進センター(びゅあ総合)、国際交流・多文化共生センター
- ・ 共催:公益財団法人やまなし文化学習協会
- ・ 開催内容:講演「若者と考えるジェンダー平等」
トークセッション「外国人住民の皆さんと語る『ジェンダー』と『暮らし』」
姉妹友好地域紹介パネル展示、国際協力ブース出展、民族衣装体験
子どもたちの歌、南米フォルクローレ、二胡演奏、台湾の踊り、男女共同参画活動発表
ラテンダンス、インドネシアの伝統舞踊、びゅあマルシェ、多国籍キッチンカー 等
- ・ 参加者数:延べ2,705名

(2) 国際交流推進事業

① 国際交流・多文化共生センターの運営

「県立国際交流・多文化共生センター」の運営業務を行い、県民に国際交流・国際協力に関する活動や、外国人住民が地域社会の構成員として共に生きていくことができる環境の整備(多文化共生の社会づくり)に関する活動の機会と場を提供した。

- ・ 日本語教材を集めた書架を設置し、外国人住民や日本語学習支援者等に貸出
- ・ 「研修室」において協会が企画運営する異文化理解講座などを開催
- ・ 「国際交流ゾーン」に国際交流、国際協力、多文化共生に関する冊子・チラシなどを配架、姉妹友好地域やJICAのポスター・パネルを掲示

② 市町村国際交流協会等連絡会の開催

ア 連絡会の開催

県内市町村並びに市町村国際交流協会の情報交換やネットワーク構築、国際交流・多文化共生施策の推進を図るため、連絡会及び研修会を開催した。

- ・ 開催日:8月29日(火)
- ・ 開催場所:ぴゅあ総合 中研修室

イ 研修助成の実施

多文化共生社会の進展に対応できる人材の育成に寄与するため、市町村や市町村国際交流協会職員を対象に、多文化共生研修等の参加に要する経費の助成について募集を行ったが、応募がなかった。

- ・ 助成対象研修:「PENTAS YAMANASHI」の多文化共生対応人材育成プログラム
全国市町村国際文化研修所(JIAM)「多文化共生の地域づくりコース」

4 国際協力に関する事業

(1) 国際協力推進事業

① 国際協力普及啓発事業

県民の国際協力への理解を深め、新たな人材育成を図るため、セミナー等の開催や県民が開催する国際理解教育等の場に専門家等を派遣し、国際協力について学ぶ場と機会を提供した。

ア 映画上映会の開催

- ・ 開催日:7月30日(日)
- ・ 上映映画:「おじいさんと草原の小学校」
- ・ 講演:「ケニアの今」元青年海外協力隊(ケニア派遣)松橋杏子氏
- ・ 参加者数:31名

イ JICA関連施設の訪問(バスツアー)

- ・ 実施日:8月5日(土)
- ・ 訪問先:JICA 地球ひろば(新宿区市ヶ谷)
- ・ 内容:JICA ボランティア体験談、体験ゾーン見学
- ・ 参加者数:19名

ウ 国際協力理解教育促進事業の実施

- ・ 派遣件数:14件
- ・ 派遣者:JICA 海外協力隊員(現役・OV)、国際協力推進員
- ・ 派遣先:県内小中学校、専門学校、大学など

② グローバル支援事業

国際的な支援活動を行う団体等への寄付を通じて、開発途上国の教育や医療レベルの向上、激甚災害等により被災した地域の人々の支援などに役立てる(令和5年度は実績なし)。

5 国際理解に関する事業

(1) 国際理解促進事業

① グローバルマインド養成事業

県民のグローバルマインドを養成するため、各種講座の開催や県民が開催する国際理解教育等の場に専門家等の派遣を行い、海外の文化、習慣、歴史について学ぶ場と機会を提供した。

ア 異文化理解講座の開催

- ・ 開催回数:10回
- ・ 参加者数:延べ110名
- ・ 開催内容:「Canadian Culture」「The History of English」「ベトナム&イギリスの食文化」「タイの食文化」「音楽を通して学ぶブラジルの歴史」「カナダの中のケベック文化」「アフガニスタンの文化」
- ・ 開催場所:国際交流・多文化共生センター 研修室等

イ 国際理解教育促進支援事業の実施

- ・ 派遣件数:13件
- ・ 派遣者:県国際交流員(CIR)
- ・ 派遣先:県内小学校・高校、県立美術館、病院など

② 国際交流・国際理解のための高校生の上張大会

国際交流、国際協力に対する理解促進を目的として、高校生による弁論大会を山梨県高等学校ユネスコ連絡協議会との共催により開催した。

- ・ 開催日:9月15日(金)
- ・ 開催場所:県立図書館 多目的ホール
- ・ 発表者数:33名